

第3回土木科学シンポジウム開催案内

テーマ「人と技術による多重の備え」

2019年台風19号は、過去に例のない勢力範囲となり、東日本の各地の堤防を決壊させる大規模な水災害をもたらしました。この数年ほどは、記録を更新する豪雨や洪水が頻発し、対策が次々と打ち出されています。この中で講じられる対策は、できることなら、既存の概念とは一線を画し、大きな効果が得られる対策を誰もが期待するようになっていると思います。

本シンポジウム実行委員の研究者は、2016年に河川を自律的に制御する新技術の開発を目的としたARCE(Autonomous River Control Engineering)プロジェクトを開始しました。しかし、その後、水災害の繰り返しを突きつけられ、ARCEプロジェクトの目標水準を一段階引き上げ、人類の理想である様々な自然災害を無害化する「土木科学」の確立を決意し、2018年11月に第1回の土木科学シンポジウムを開催しました。土木科学は、ARCEプロジェクトが提案する新しい学問です。既存の土木工学には種々の経験的手法が散在しています。土木科学は、その経験的手法を科学的手法へ転換することで自然現象の不確実性を縮減し、社会活動における自然災害の脅威の除去や、生産性の飛躍的な向上を目的とする学問です。

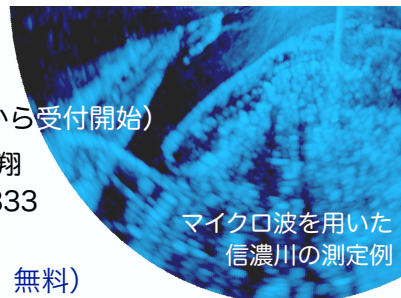
第3回となる今回のテーマは、「人と技術による多重の備え」としました。シンポジウムは二部構成とし、第一部は、産官学が一体となって取り組む新潟県をはじめとする地方の建設分野における高度な人材育成、第二部は、ARCEプロジェクトの研究発表としました。様々な立場の皆様のご参加と、個々の発表や土木科学の研究の方向性について、皆さまからの忌憚のない意見をよろしくお願いいたします。

日時・会場

- 11月27日(金) 15:00-18:05 (14:40から受付開始)
- ANAクラウンプラザホテル新潟 3階 飛翔
新潟市中央区万代5-11-20 025-245-3333

勉強会スケジュール15:00-18:00 (当日参加可、無料)

- 第一部 15:00-16:30 地方における高度な人材育成** 司会：阿彦 南美 (小野組)
開会挨拶・発足趣旨説明 小野 貴史 (小野組、水ラボ共同発起人)
来賓挨拶 国交省北陸地方整備局河川部 河川調査官 木村 勲 様
来賓挨拶 新潟県土木部技監 坂井 徹 様
来賓挨拶 新潟大学 BDA研究センター長 山崎 達也 様
講演「感動する仕事、残る仕事」安田 浩保 (新潟大学、水ラボ共同発起人)
- 第二部 16:45-18:05 研究成果発表** 司会：村松 正吾 (新潟大学工学部)
 - 早坂 圭司 (新潟大学理学部)
マイクロ波レーダーを利用した河川状況の把握～ファーストエコーは我々に何を教えてくれるのか～
 - 梅木 康太郎 (安田研究室 大学院博士前期課程2年生)
拡縮工法の原理と効果～自然河川の法則を活用できるか～
 - 劉 東齊 (村松研究室 工学部4年生)
河道能動制御のプロトタイプシステム構築～データ駆動型の治水を目指して～閉会挨拶 今西 肇 (和合館工学舎 学舎長)、安田 浩保 (新潟大学)
- コロナウイルスの感染拡大予防のため、**交流会の開催は見合わせ**とすることにしました。来年の会で皆様とご一緒できることを楽しみにしています。



【実行委員会】

安田 浩保

新潟大 災害復興研
河川工学

早坂 圭司

新潟大 理学部
素粒子実験物理学,ビッグデータ

村松 正吾

新潟大 工学部
信号処理

【主催・協力・後援】

主催

ARCEプロジェクト

協力

新潟大 BDA研究センター
新潟大 研究企画室URA

後援

水ラボコンソーシアム
和合館工学舎

【問合せ先】

安田 浩保

hiro@gs.niigata-u.ac.jp

【COVID感染拡大予防への協力
のお願い】コロナウイルス接触確
認アプリ COCOA



Android



iOS